

第12回南魚沼市立小・中学校学区再編等検討委員会議事録

日時 令和5年11月16日 午後3時から午後4時55分

場所 南魚沼市民会館 多目的ホール

参加 委員 14名
事務局 5名

議事

- ①中間報告（案）について（資料1）
- ②各中学校区の小学校における統廃合の具体的手法に関する検討資料について（資料2）
- ③その他

1. 開会（学校教育課長）15:00～
2. 挨拶（教育長）（塩川委員長）
3. 傍聴希望者について（一部許可）
4. 議事

部長 資料1について説明。

委員長 事務局より、資料の説明がありました。
今回提示された資料1『中間報告（案）』は、前回の会議で検討いただいた『中間まとめ』を、より具体的に記載したものとなっています。
まず、2ページから6ページの中段まででご意見がありましたら挙手願います。

委員 3ページに「社人研推計」とありますが、正式名称を入れた方がいいと思います。

部長 社人研とは、社会保障・人口問題研究所というところで、国勢調査の統計を基に人口減少の将来推計をしています。ご指摘のあった通り、社人研について説明書きを付け加えたいと思います。

委員長 続いて、7ページから11ページ中段まででご意見ををお願いします。

委員 7ページ、文章だと和暦が先に来ていて、グラフだと西暦が先に来ているので、揃えた方がいいと思います。また、老朽化の部分で、鉄筋コンクリートだと最長80年ということですが、今後子どもが減ってきたときに、80年という年数によって応用が効かなくなってしまうということも、今後考えていかなければならないと思いました。

部長 後段について、よく分かります。ソフト面も含めた学校の状態から検討していかなければならないと思います。前段については、どちらが先がいいでしょうか。

委員 グラフに合わせて西暦が先の方がいいと思います。

委員長 では、西暦を先に記載するというので修正をお願いします。

委員 13 ページの「そのため、現時点において適正規模を満たしていない学校に対し、必ずしも早急な学区再編等を促すものではなく」の部分ですが、大和地区においては早急な検討が必要なところも出てきているので、削除した方がいいと思います。

部長 「必ずしも」と入れたことで、一律に早急な対応をするわけでないということを示しています。全部削除しても意味は通じると思いますし、なくなったことで意味は変わらないと思いますので、委員会の中でお決めいただければと思います。

委員長 このことについて、ご意見はありますか。

委員 今回の中間報告については、今までの議論を踏まえて非常によくまとめていただいていると思います。この答申が一つの方向付けになると思いますが、これを基に議論をすべきだと思います。以前の会議で「地域の意見」を「地域（保護者）の意見」に修正すべきという意見が出て、本当にその通りだと思いました。30年、40年先のことは責任がとれませんので、今の保護者に説明して、議論いただくべきだと思っています。今の若い人たちは持っているツールも違いますし、環境も価値観も違います。教育という場を通じて議論していただいて、併せて地域についても考えていただくのがいいと思います。議論の過程で出てきたものを中間報告とすべきだと思いますので、些細なことでも併記してあった方がより分かりやすいと思います。私はこのままでいいと思います。

委員 私も現状のまま残すのでいいと思います。

委員長 では、このまま残すということでよろしいでしょうか。

委員 異議なし

委員長 では、このまま残すということでお願いいたします。

委員長 続いて、13 ページから 14 ページ中段まででご意見ををお願いします。

部長 先ほど出た「若い世代に情報共有の場を」という意見を、どのように反映すべきか考えていました。14 ページの中断の留意事項①「地域や保護者と情報共有を図ること」という部分で、情報提供ではなく、情報共有をしていこうという意味が含まれているという説明をさせていただきました。そのため、ここに含まれているという理解でよろしいでしょうか。

委員 異議なし

委員長 最後に、(2) 小規模特認校について及び(3) その他について、ご意見をお願いします。

委員 小規模特認校について、大規模校に馴染めない子どもの選択肢として、2校に限らず、もっとあってもいいのではないかと思います。その辺の考えをもう少し入れていただければと思います。

部長 第一段落は今の2校の特徴として、地域の理解がある中で学校と連携していて良好な環境だということを記載しております。また、第二段落では、今後統合が進むと色々な教育ニーズが出てきて特認校に限らず、学びの場が必要になってくる可能性があり、既設の特認校も含めて確保していく必要があることを記載しています。2校に限って記載したつもりはなかったのですが、具体的に修正した方がいい箇所があれば、教えていただければと思います。

委員 既設の2校を含めて、色々な学校の在り方について考えていく必要があるということが記載されていて、私は2校に限った捉え方はしなかったなのでこのままでいいと思います。

部長 第二段落の「既設の特認校を含めた学びの場所の確保が重要となる～」を「既設の特認校に限らず学びの場所の確保が重要となる～」と修正するのではいかがでしょうか。

委員 いいと思います。

委員長 そのように修正願います。ではここで、5分間休憩とします。

委員長 休憩を閉じ、会議を再開します。

『中間報告(案)』についてですが、今皆さんから出していただいた意見を反映したものを正式な『中間報告』としてよろしいでしょうか。

委員 異議なし

委員長 では、そのようにさせていただきます。
議事②『各中学校区の小学校における統廃合の具体的手法に関する検討資料について』、事務局より説明願います。

部長 資料2について説明

委員長 事務局より、資料の説明がありました。
例示をたたき台として、どのような進め方がより適切なのか、委員よりご意見いただきますが、非常に具体的な検討事項ですので、先ほど事務局から提案があったとおり、今日の意見を反映した修正版を12月上旬までに送付するとのことですので、次の会議までに意見聴取などを進めていただきたいと思います。本日は説明を聞いた時点での、全体的なご意見があれば伺います。

委員 統合という言葉をお使いですが、大和地区であれば浦佐小学校が基幹校だと思っていますので、周辺の東地区、藪神地区、大崎地区については浦佐小学校に編入しながら将来的に1校に統合するという点についても委員の皆さんからお考えいただければと思います。東地区についてはすぐに複式学級が発生するという点ですので、浦佐小学校に編入しておいて将来的に1校にする、塩沢地区においても、石打小や上田小を塩沢小学校に編入しておいて将来的に1校に統合していくということです。複式学級を残しておくよりも、子どもたちにとってより良い教育環境ということであれば、編入合併についても早期に取り入れて考えていただき、事務局からたたき台を示していただければと思います。

部長 事務局でそれぞれの意見を具体化するというよりも、委員会の中でおまとめいただければと思います。

委員長 編入合併の意見が出ましたが、他にご意見がありましたらお願いいたします。

副委員長 以前の会議で、浦佐小学校の校舎事情から受け入れは難しいという話があったと思います。そういったことも頭の片隅にいれて考えていただければと思います。

部長 浦佐小学校に限ったことではなくて、全体のことでおっしゃっていただいたと思いますが、浦佐小学校に限れば、来年度からはプレハブを用意しなければならず、今の校舎では編入合併は難しいのが現状です。

委員 資料1に戻りますが、(2)小規模特認校について、一段落目に「学びの場所」とあります。説明の中でも何度か出てきていて、多様な学びの場所をイメージして使われていると思います。先ほど意見があった「既設の特認校に限らず学びの場所の確保が重

要となる～」を「既設の特認校に限らず「学びの場所」の確保が重要となる～」とすることで、意図することが分かりやすくなると思いました。資料2にもこの考え方をどこかに入れておいた方がいいと思います。

委員長 今提案があった項目について、そのように修正してよろしいでしょうか。

委員 異議なし

部長 資料2にも「学びの場所」の考え方について記載した方がいいということですので、共通事項として入れるのか、大和と塩沢には既に特認校があるので、そこは違う書き方にした方がいいのかは事務局で検討させていただきます。いずれにしても、共通事項に何らかの文言を入れるような方向で検討したいと思います。

委員長 では、事務局提案の通りとさせていただいてよろしいでしょうか。

委員 異議なし

委員長 ご意見ありがとうございました。

この資料については、次回の会議で更にご意見をいただきたいと思えます。内容をご確認いただき、次回までに準備をお願いします。

5. 次回の開催予定：1月18日（木）

6. 閉会

午後4時55分終了